





# メディスキンコートf

 使用上の注意	解 説				
<p> <b>してはいけないこと</b>            (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>次の部位には使用しないでください。               <ol style="list-style-type: none"> <li>目の周囲、粘膜等。</li> <li>引っかき傷等の傷口、亀裂(ひび割れ)部位。</li> <li>かさぶたの様に皮膚がはがれている部位。</li> <li>炎症部位。(ただれ・赤くはれている部位)</li> </ol> </li> </ol> <p> <b>相談すること</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。               <ol style="list-style-type: none"> <li>医師の治療を受けている人。</li> <li>薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。</li> </ol> </li> <li>使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。               <table border="1" data-bbox="201 1458 700 1624"> <thead> <tr> <th>関係部位</th> <th>症状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>皮膚</td> <td>発疹・発赤、かゆみ、はれ、刺激感(痛み、熱感、ひりひり感)、かさぶたの様に皮膚がはがれる</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>2週間使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。</li> </ol> <p>〈用法・用量に関連する注意〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>用法・用量を厳守してください。</li> </ol>	関係部位	症状	皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ、刺激感(痛み、熱感、ひりひり感)、かさぶたの様に皮膚がはがれる	<p>尿素は角質融解作用がありますので、目の周りや粘膜、傷口や亀裂のあるところ、皮膚がはがれているところ、炎症のあるところに使用した場合、刺激が強くあらわれることがあります。</p> <p>医師の治療を受けている人は、医師から何らかの薬剤の投与又は処置を受けており、自己判断で他の薬剤を使用することは、同種薬剤の重複投与や相互作用などを引き起こすおそれがありますので、医師に相談するようお勧めください。</p> <p>人によっては配合成分や添加物でアレルギー症状を起こすおそれがあります。過去に薬や食品、化粧品等によるアレルギー症状の既往歴のある人は、薬物アレルギーを起こしやすいので注意が必要です。</p> <p>配合されている成分により、あらわれることが予測される副作用症状を記載しています。これらの症状があらわれた場合には、直ちに使用を中止し、本剤の添付文書を持って医師の診療を受けるようお勧めください。</p> <p>2週間使用しても症状の改善が見られない場合には、他の原因も考えられますので、使用を中止し、本剤の添付文書を持って医師の診療を受けるようお勧めください。</p> <p>医薬品にはそれぞれ有効な用法・用量が決められています。それを下回った場合には効果が得られないこともあり、また、定められた用量以上大量に使用しても、効果はそれに比較して上がるわけではなく、場合によっては副作用があらわれるおそれもあります。            薬は定められた用法・用量を正しく守ることが大切です。</p>
関係部位	症状				
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ、刺激感(痛み、熱感、ひりひり感)、かさぶたの様に皮膚がはがれる				

 使用上の注意	解 説
<p>(2) 本剤のついた手で、目など粘膜にふれないでください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。</p> <p>(3) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。</p> <p>(4) 外用にのみ使用してください。</p>	<p>配合されている尿素は角質融解作用がありますので、目の周りや粘膜、傷口や亀裂のあるところ、皮膚がはがれているところ、炎症のあるところに付着した場合、刺激が強くあらわれたりすることも考えられます。</p> <p>小児の自己判断による使用は、誤用や思わぬ事故につながるおそれがあるので、使用に際しては保護者による適切な指導監督が必要です。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>一般的に乳児は1才未満、幼児は7才未満、小児は15才未満をいいます</p> </div> <p>定められた投与経路、適用部位以外への使用は、思わぬ副作用を引き起こすおそれがあります。</p>
<p><b>保管及び取扱い上の注意</b></p> <p>(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。</p> <p>(2) 小児の手の届かない所に保管してください。</p> <p>(3) 他の容器に入れ替えしないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)</p> <p>(4) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。</p>	<p>各々の製品により定められた保管条件を守らないと品質の劣化や期待する効果が得られない等の悪影響を及ぼすおそれがあります。</p> <p>小児の誤飲・誤用を防止するために注意喚起しています。</p> <p>他の容器に入れ替えると、入れ替えた薬剤が何であったか分からなくなったり、湿気、汚れ、光などにより薬剤の品質が保持できなくなるおそれがあります。</p> <p>使用期限とは、最終包装の形態で流通下における通常の保存条件(室温)下で保管された場合に、その性状や品質を保証できる期限です。 各製品毎に実施される安定性試験(原則として、最終包装製品を室温で保存)のデータに基づいて設定されています。</p>